純正との一体感をテーマに RSに向けたスポーティーモデル登場

RANDO style GE8 FIT RS

ランドスタイル GE8 フィット RS

「純正との一体感」をテーマに、RANDO Styleより、スポーティーグレードのRSに向けたプログラムが登場。躍動感を持たせたRSの純正バンパーだが、そのパフォーマンスに比べ、どこか"物足りない"部分を感じないだろうか？ それを補いつつ、エアロパーツとしての存在感とスポーティーテイストを融合させたのが、このエアロだ。フロントバンパーの下に取り付けるアンダースポイラーに、リアセンターに配置した3本フィンのディフューザー、ウイングには5本フィンを採用。純正に比べて、フロントで20～25mm、リアで25mm～35mm下側に伸びたうえ、[illegible]サイドの出っ張っていないところもスポーティーさを[illegible]。スポーティーさをさらにプラスしてくれる「RS」のためのプログラムが誕生した。

①[illegible] ②[illegible] ③[illegible] ④[illegible] ⑤[illegible]

主要装着パーツ

[illegible]

純正形状の物足りなさを補いつつ、存在感&スポーツテイストを注入!!

RANDO style ZF1 CR-Z

ランドスタイル ZF1 CR-Z

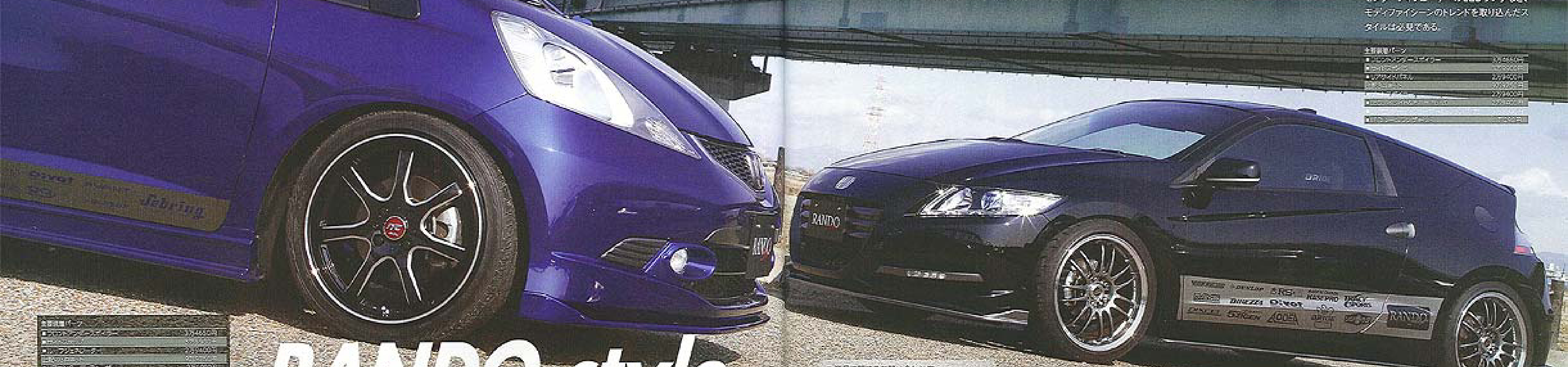
①純正バンパーのデザインに合わせたフロントアンダースポイラー。[illegible] ②フロント同様、純正ステップの下に取り付けられたサイドステップ。 ③中央にLEDランプを配したリアアンダーディフューザー。[illegible] ④[illegible]

「ハイブリッド×スポーツ」を両立させたCR-Zのオーナーは、マニュアル車をセレクトするケースが多い。つまり、「走り」を[illegible]ユーザーが多いということ。[illegible]RANDO Style[illegible]ながら、純正サイズとほぼ変わらないロードクリアランスを確保したこのボディキットだ。CR-Z純正の腰下のモノ足りなさを補いつつ、スマートにスポーティースタイルを主張するプログラムとなっている。フロント両サイドのダクトに取り付けるLEDデイライトや、リアセンターディフューザーのLEDランプなど、モディファイシーンのトレンドを取り込んだスタイルは必見である。

⑤シートにはブリッドのSTRADIA2をインサート。高いホールド性を誇るシートを低い着座位置に装着することで、スポーティー感を一気にアップする。 ⑥ピラーやドアノブまわりといったポイントに、カーボンシートを配置。スマートにスポーツテイストを主張している。コクピットにはマジカルカーボンを使用。 ⑦「乱人流」の最新サイドテーブルがコレ。スマートフォンを立てかけられるサイズが新登場した。

主要装着パーツ

[illegible]



RANDO style

■商品に関するお問い合わせ先
エアロテックジャパン ☎072-838-7744
http://www.aero-tech.co.jp